schistes のように属の和名がない場合には，*Teloschistes* にダイダイキノリ属の和名を予め準備して，科の和名もダイダイキノリ科とした。これらの属の和名については，別の機会に報告することにしたい。一方，Trapeliaceae のような場合には規準属の *Trapelia* に属の和名がなく，信頼すべき日本産の報告もないので，同科に含まれる *Placopsis* デイジーゴケ属の名称を科の和名にも採用し，デイジーゴケ科とした。

近年研究が進展し，科の概念が著しく変ったものとして広義の Lecideaceae ヘリトリゴケ科がある。日本でヘリトリゴケと呼ばれて，広義の Lecideaceae の代表と考えられてきたものは，現在 *Porpidia albocaerulescens* (Wulf.) Hertel et Knop と呼ばれ，Propidiaceae に属している。そこで，Lecideaceae を広義に解釈する場合はヘリトリゴケ科の名称を使うとしても，狭義で使う場合にはヘリトリゴケ科は Porpidiaceae に対応する名称とし，Lecideaceae に対してはヘリトリゴケモドキ科の和名を使い，その規準属 *Lecidea* の和名も従来のヘリトリゴケ属からヘリトリゴケモドキ属に変えたらどうであろうか。同様なことは Lopadiaceae にも言えるが，従来使われてきた広義の Lopadiaceae サビイボゴケ科に対して，現今の意味での狭義の Lopadiaceae にはニセサビイボゴケ科の和名を与え，日本産の代表的な種 *Brigantiaea ferruguinea* (Müll. Arg.) Kashiw. et Kurok. サビイボゴケを含む *Brigantiaea* サビイボゴケ属を規準属とする Brigantiaeaceae をサビイボゴケ科としてはどうかと考える。

以上の地衣類の科の和名の選定については，地衣類研究会の方がたから貴重な御意見をいただきました。この機会に御礼を申し上げます。

引用文献

Eriksson, O. 1981. The families of bitunicate Ascomycetes. Opera Bot. **60**: 1-220.　Hafellner, J. 1984. Studien in Richtung einer natürlicheren Gliederung der Sammelfamilien Lecanoraceae und Lecideaceae. Beih. Nova Hedwigia **79**: 241-371.

(国立科学博物館 筑波実験植物園)

□群馬県高等学校教育研究会生物部会(編)：**群馬県植物誌改訂版** 604 pp. 1987. 同会，前橋(振替・長野1-28162 群馬県植物誌). ¥5,000(送料共). 1968年刊行の群馬県植物誌を，県の自然の基礎資料という方向で改訂したもの。植生が新しくとりあげられ，120頁を占める。高等植物目録は3203種類240頁にわたり，産地を示してある。蘚苔類・藻類はリストを主として168頁におよぶ。群馬県はまだ残された自然が多く，それだけに調査に多くの苦労があったようだ。今後の方向としては自然の変化をたどれるように，記録地点，時刻，準拠資料を示すような植物誌を期待する。　(金井弘夫)